

内閣ニ於テ外國ト議定書締結ニ

際ニ樞密院ニ御諮詢アラシムトテ奏

請セガリ事ニ関シ樞密院副議長

及顧問官ヨリ上奏ノ件

明治三十七年二月二十四日樞密院會議ノ終

リタル後小村外務大臣ヨリ列席ノ顧問官一同

ニ對シテ前日一月二十日ノ報告以後ノ外交上ノ経

過ニ関スル報告ヲ爲シ二月五十三日ヲ以テ日韓

議定書ノ調印ヲ終ヘタル旨ヲ報告セリ伊

東顧問官等ヨリ右ハ外國ト約束スルヲ以テ

樞密院ノ御諮詢ニ關シテ

樞密院

相密院官制第六條第四號ニ依リ当然相  
密院ニ御詔詢アラセラルシコトヲ内閣ヨリ奏  
請シ本院ノ議決ヲ經テ締結スルキモノナル  
ニ拘ハラズ内閣ニ於テ其ノ手續ヲ履マザリシ  
ハ當ヲ得ガレモノナリトノ論出デ控室ニ退キ  
テ發議ノ上出席顧問官一同ノ同意ヲ以  
建<sup>建</sup>上奏ヲ爲スエトシ決シ上奏文案起草ヲ  
伊東顧問官及御筑書記官長ニ委託  
シ二月二十七日案成リ伊東顧問官ヨリ其  
起草ノ手續ト文案ノ趣旨大要トヲ説明

<sup>御議事本</sup>  
セラルシ出席顧問官何レモ異議無シ且  
文案ヲ呈認シ同日正午前東少老副議  
長ハ上奏文案ヲ携テ參内シ之ヲ捧呈  
セラレタリ(上奏文ハ別紙録シ候存ス)